

防犯活動日記

(12/9 東部地域振興センター)

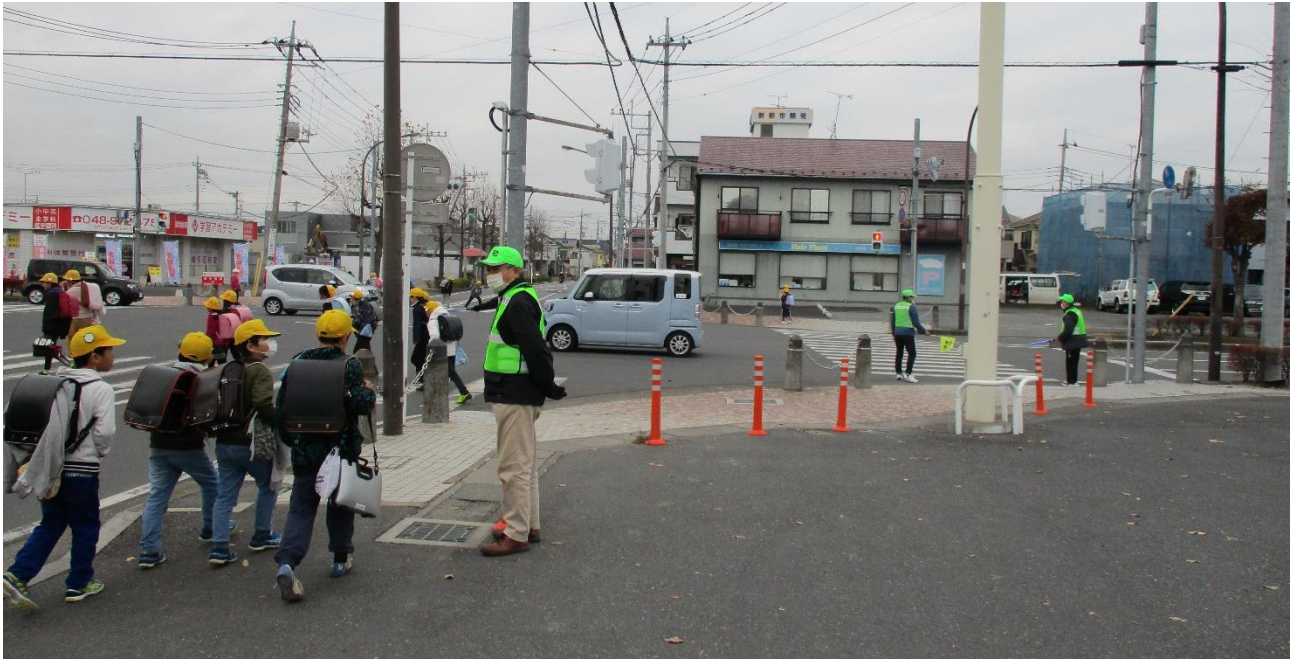
今回は松伏町の松伏町子ども見守り隊のパトロールにお邪魔し、お話を伺いました。

■防犯パトロールの概要を教えてください

松伏町子ども見守り隊は、令和元年6月20日に発足し、町内全域で活動しています。見守り隊の特徴は、児童の登下校の見守り活動に加え、学校周辺、公園、グラウンド、サッカー場、神社、寺の境内など、子どもが遊んでいる場所に活動範囲を広げて見守り活動を行っていることです。

見守りは、日時を決めず、できる時にできる範囲内で行っています。こうした工夫で隊員一人一人が都合の良い時間帯に「無理なく・気軽に」自主的な活動ができています。また、月に

一回、地区の有志により小学校での見守り活動も実施しています。



■どのような方が活動に参加していますか？

隊員は、町議会議員、学童教室の先生、PTA、自治会、町民など約120名です。

■どのようなことを心がけて防犯活動を行っていますか？

警察署から指導を受け、次の5つのことを遵守しています。①子どもの体には触れない。②子どもたちの様子を撮影しない。③隊員からは、あまり話かけない。ただし、挨拶は元気よく行う。④子どもたちの名前、家族名、住所は

聞かない。⑤犯罪、非行行為、不審者を見たら
110番する。



■活動を継続する上での課題はどのようなことがありますか？

隊員を増やす取り組みの中で、ボランティア活動に無関心の人が多いことです。

■パトロールで良かったことはありますか？

活動の中で、子どもたちから「見守ってくれてありがとうございます。」と感謝の言葉を掛けられた時には、うれしく思いました。

■今後の抱負をお願いします

無抵抗の子どもたちを狙った、犯罪が多発していることは悲しいことです。こうした悲しい事件が起きないように、今後も犯罪の抑止に取り組んでまいります。



本日は、ご協力いただきありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします！